



令和4年度9月補正予算の概要

福岡県



令和4年度9月補正予算のポイント

1 予算編成 の考え方

- 「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に取り組むとともに、「新型コロナウイルス感染症対策」、「安全・安心の確保」、「地域活性化」に必要な経費を計上

(単位:百万円)

区分	当初予算 A	現計予算 B	9月補正 予算 C	9月補正後 予算 D=B+C
一般会計	2,152,926	2,166,353	80,081	2,246,433
特別会計	995,064	995,064	0	995,064
計	3,147,990	3,161,417	80,081	3,241,497

※表示単位未満四捨五入の関係で、積上合計が一致しない箇所がある

(単位:百万円)

3 主な内容

項目	予算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫	県債	その他	
○ コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策	3,333				3,333
○ 新型コロナウイルス感染症対策	69,375	63,720		2,076	3,579
○ 安全・安心の確保	7,148	4,415	1,708	651	374
○ 地域活性化	225			14	211
合計	80,081	68,135	1,708	2,741	7,497

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 54億円
繰越金 21億円



コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策

事業継続の支援

新規

○ ワンヘルス推進につながる化学肥料低減を支援 22億9,368万6千円

- 化学肥料の低減に積極的に取り組む農業者に対し、国の「肥料価格高騰対策」に加え、県独自で上乗せ支援

[対象者] 販売実績がある農業者

[対象品目] 全品目

[対象経費] 令和4年6月から令和5年3月までに購入した肥料代

[補助額] 肥料代の上昇分※の15/100（国と合わせて85/100を支援）

※ 令和4年度と令和3年度の肥料代の差額

[補助要件] 化学肥料低減の取組を3つ以上実施すること

【参考】

国の「肥料価格高騰対策」の内容を踏まえ、6月補正で計上した県の「肥料高騰緊急対策（22億3,270万円）」については減額

	県「肥料高騰緊急対策」 (6月補正予算)	国「肥料価格高騰対策」 (7月29日閣議決定)
対象者	認定農業者等	販売実績がある農業者
対象品目	麦、野菜、果樹、花き、茶	全品目
補助額	肥料代の上昇分の1/2	肥料代の上昇分の70/100

新規

○ **飼料購入経費を支援 13億2,827万6千円**

- ・ 飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家を支援するため、県独自で飼料代を助成

[対象者] 畜産農家

[対象品目] 配合飼料、乾牧草

[対象経費] 令和4年7月から令和5年3月までに購入した飼料代

[補助額] 飼料代の上昇分（基準価格との差額）の1/2

[基準価格] 配合飼料 73,250円※ /t、乾牧草 49,776円/t

※ 配合飼料価格安定制度による補てん金充当後の農家実質負担額

新規

○ **地域の公共交通を支援 7億4,060万3千円**

- ・ 原油価格高騰の影響を受ける地域公共交通事業者に対し、燃料代の一部を助成

[対象者] 地域鉄道、乗合バス、タクシー事業者

[補助額] 燃料代の上昇分※の1/2

※ 令和4年と令和元年の燃料代の差額



<地域公共交通>

新規

○ **県制度融資に「物価高騰特別枠」を創設 5,600万円**

- ・ 仕入れ価格の高騰により利益が減少している中小企業の資金繰り支援のため、特別枠を創設し、保証料を全額負担

[対象者] 売上総利益率が15%以上減少している中小企業者等

[融資枠] 98億円

[保証料率] 0% (県が全額負担) [融資利率] 1.3%

[融資限度額] 3,000万円 [資金使途] 運転資金

○ **修学旅行の誘致による観光事業者への支援を拡大 2,281万円**

- ・ 本県を行程に組み込んだ県内外の学校が行う修学旅行へのバス代の一部助成を好評につき倍増

[補助額] 1日1台当たり5万円

[誘致目標] 400台 → 800台

新規

○ **公衆浴場の燃料購入経費を支援 561万円**

- ・ 物価統制令に基づき入浴料金の上限額が定められている普通公衆浴場に対し、燃料代の一部を助成

[補助額] 燃料代の上昇分※の1/2

※ 令和4年度と令和元年度の燃料代の差額

危機に強い経済構造の実現

■ 中小企業への支援

新規

○ 県内半導体関連企業の人材確保を緊急支援 5,387万3千円

- ・ 県内外の理工系学生を対象に、企業の技術や魅力を伝えるプロモーションツアーやウェブインターンシップを実施
- ・ 県内外の実務経験を持つ転職希望者を対象に、遠方からでも複数企業と面談できるオンライン面接会を開催
- ・ 高等技術専門校でものづくりを学ぶ訓練生を対象に、OJT訓練を通じた企業とのマッチングを実施
- ・ パワー半導体や三次元実装など半導体分野の人材を育成するため、従来の専門講座に加え、入社3年目までの若手社員を対象としたオンライン基礎講座をふくおかIST「システム開発技術カレッジ」で実施

○ 中小企業のDXを支援 9,874万2千円

- ・ 中小企業が行う生産ラインの自動化や在庫管理の省人化などのデジタル技術を活用した生産性向上に必要な設備導入に対する支援を拡大

○ 中小企業の新製品開発、低コスト化を支援 2億2,219万2千円

- ・ 販路開拓等に挑戦する中小企業の新技术・新製品開発に対する支援を拡大
- ・ 工業技術センターに金型の長寿命化を実現する金属粉末製造装置などの機器を導入し、中小企業の製品製造の低コスト化を支援



<検査工程のデジタル化>

西日本初

○ FCTトラックの先進拠点を構築 1億26万円

- ・ 県内物流事業者へのFCTトラック導入を支援し、県トラック協会と連携して航続距離などのデータ発信や試乗会の実施による導入意欲の喚起を図る

FCTトラックの普及により、メーカーの保守点検拠点整備を促進し、FCTトラックの先進拠点を目指す

[対象者] 物流事業者

[補助件数] 2台

[補助要件] 運行により得られたデータ（航続距離や燃費など）の報告、試乗会の実施等



<水素を燃料とするFCTトラック>

新規

○ トラック運送事業者のエコタイヤ導入を支援 3億699万7千円

- ・ 原油価格高騰の影響を受けるトラック運送事業者が車両の燃費向上のために導入するエコタイヤの購入費を助成

[対象経費] 令和4年4月から令和5年1月までに購入したエコタイヤ（軽自動車用を除く）

[補助額] 5千円/本（1事業者につき上限100千円）

新規

○ 生産ラインを支える技術系人材を育成 1億696万7千円

- ・ 自動化された生産ラインのプログラム制御やメンテナンスを総合的に実施でき、即戦力となる技術系人材を育成するため、高等技術専門校に実習機器を整備



<自動化された生産ライン>

■ 農業への支援

新規

○ 「あまおうの匠」の技を伝承 1億3,722万4千円

- ・ 高品質な「あまおう」を生産する匠の技を伝えるため、新規就農者を対象に、熟練生産者「あまおうの匠」が自身の視点を「見える化」するなどの先端技術を活用した指導を実施
- ・ 即戦力の「あまおう」農家を育成するため、農業大学校の学生を対象に、スマートグラス等の先端技術を活用した専門研修を実施



<18年連続販売単価日本一を達成した「あまおう」>

○ 配合飼料原料の生産・利用を拡大 9,291万4千円

- ・ 高騰する配合飼料原料の自給率向上を図るため、水田農家に対し、子実用とうもろこし※生産機械の導入経費を支援
- ・ 配合飼料原料の利用拡大を図るため、養豚・養鶏農家に対し、子実用とうもろこしや飼料用米を餌に加工するための機械の導入経費を支援



<子実用とうもろこし収穫機>

※ 栄養価の高い実のみを利用する飼料用のとうもろこし



新型コロナウイルス感染症対策

■ 第7波における検査数や新規陽性者数を踏まえ、下半期の所要額を措置

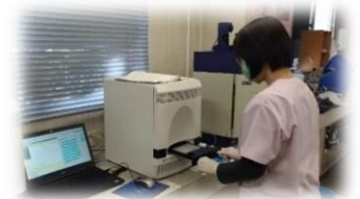
○ 入院病床、宿泊療養施設を確保 565億6,548万7千円

- ・ 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる入院病床を確保
- ・ 軽症、無症状の患者を受け入れる宿泊療養施設を確保（12施設、2,432室）



○ 医療費支援、抗原定性検査キットの無料配付を実施 61億9,799万8千円

- ・ PCR等検査、患者医療費の自己負担分を支援
- ・ 重症化リスクが低い65歳未満の有症状者等に対し、抗原定性検査キットを無料配付



○ ワクチン接種を促進 6億4,244万1千円

- ・ 接種回数や人員を増やした医療機関に対し、通常の接種単価に上乗せ支給を実施
- ・ 市町村の接種を支援するため、県独自の接種会場を設置
- ・ 医学的な知見に基づく専門的な相談窓口を設置



安全・安心の確保

■安全・安心、地域防災力の強化

○道路の安全を確保 59億9,283万9千円

- ・ 通学路の歩道整備や交差点の改良工事等を実施
- ・ 市街地における道路の拡幅やバイパス整備、踏切除去等を実施

○流域治水を推進 9億9,015万4千円

- ・ ため池、用排水路、排水ポンプ等を整備

○土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を実施 17億4,406万3千円

- ・ 砂防施設を設置
- ・ 港湾の航路浚渫や岸壁の補修等を実施



<歩道の整備>



<砂防施設の整備>

■児童虐待防止体制の強化

新規

○児童虐待防止のためのSNS相談窓口を開設 2,212万7千円

- ・ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」での電話相談に加え、子どもや保護者等がより相談しやすくなるよう、SNSを活用した相談を新たに実施

[開設時期] 令和4年10月～

[受付時間] 10:00～20:00 (土日祝含む)



地域活性化

アジア初

○「ブレイキンワールドシリーズ北九州大会」を開催 2,507万5千円

- ・ パリ五輪で正式種目となるダンススポーツ「ブレイキン」の世界シリーズ※1 の開催経費を負担※2

[日 程] 令和5年2月24、25日

[場 所] 西日本総合展示場

[主 催] (公社)日本ダンススポーツ連盟、RKB毎日放送(株)

[共 催] 福岡県、北九州市

※1 パリ五輪への出場に必要なポイントが付与される世界大会

※2 北九州市と同額を負担(2,500万円)



<ブレイキン>

(写真提供:日本ダンススポーツ連盟)

新規

○ 動物とふれあい、学ぶ「ワンヘルスパーク」を整備 6,226万3千円

- ・ 人と動物がふれあう「アニマルセラピー」による健康づくりのため、乗馬体験広場、ドッグランを設置
- ・ 人と動物の健康や環境について学ぶ「体験型学習教室」や「乗馬体験教室」などを開催

[場 所] セントラルパーク(大濠公園・舞鶴公園)



<馬とのふれあい体験>

新規

○ パピオアイスアリーナの再開を支援 1億2,331万3千円

- ・ 福岡市と共同し、競技普及や選手育成の拠点として、再開に必要な施設改修を支援※

※ 福岡市と同額を支援